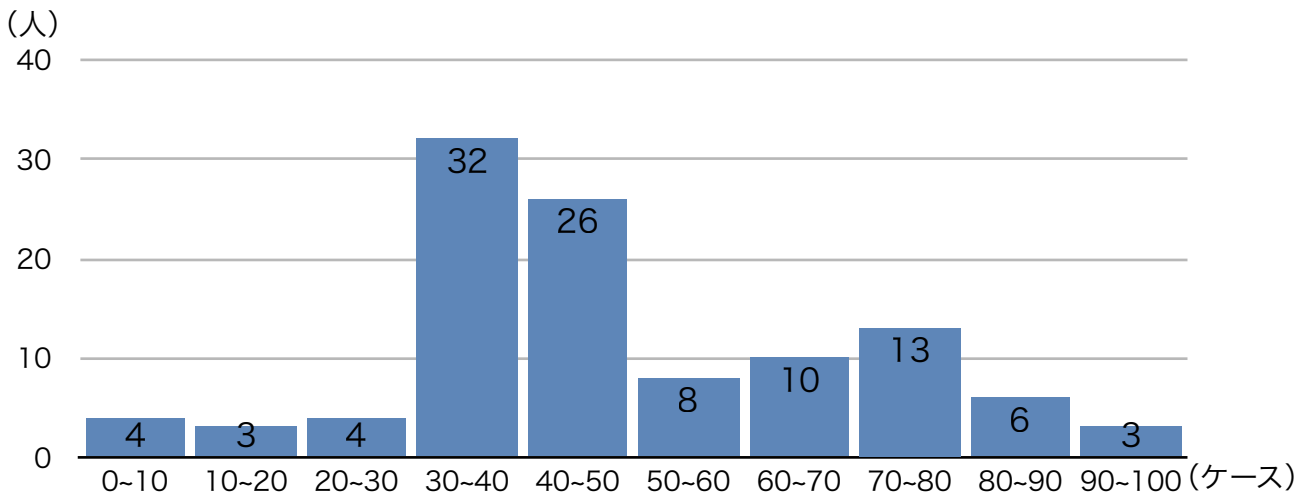
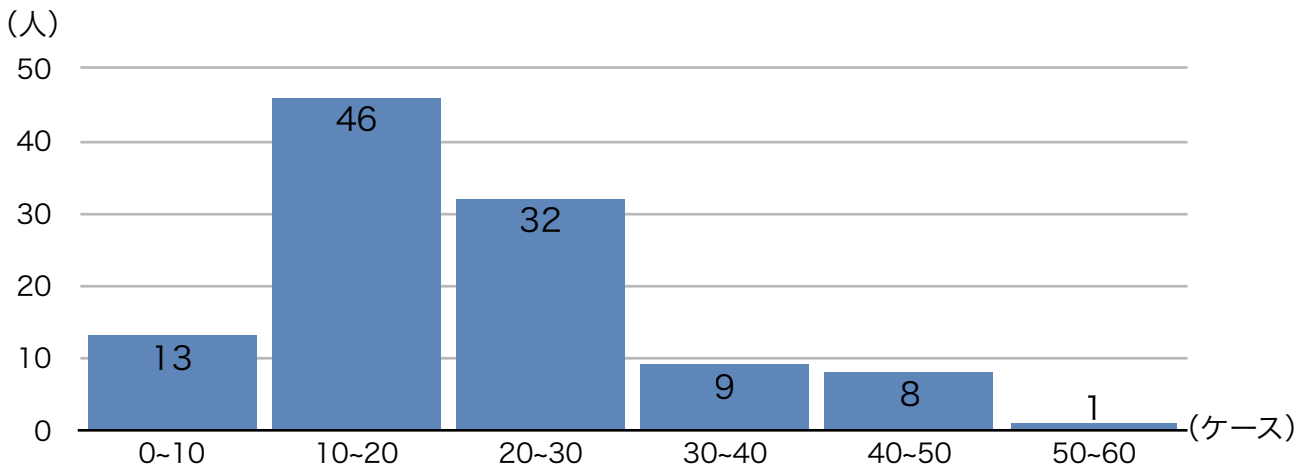


アンケートA結果

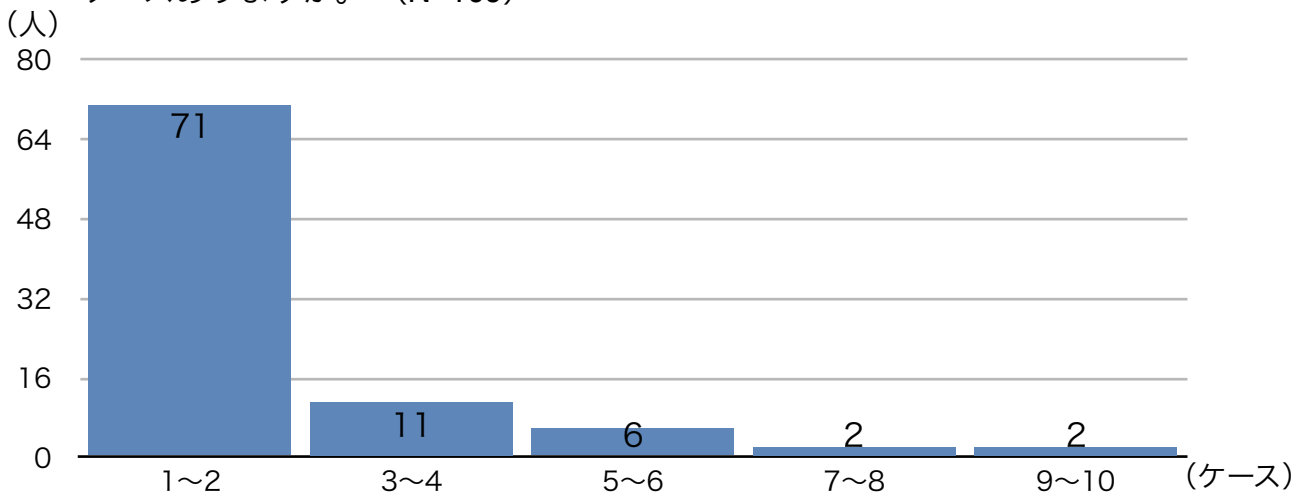
Q1 あなたが現在、担当するケース数は何ケースくらいですか。 (N=109)



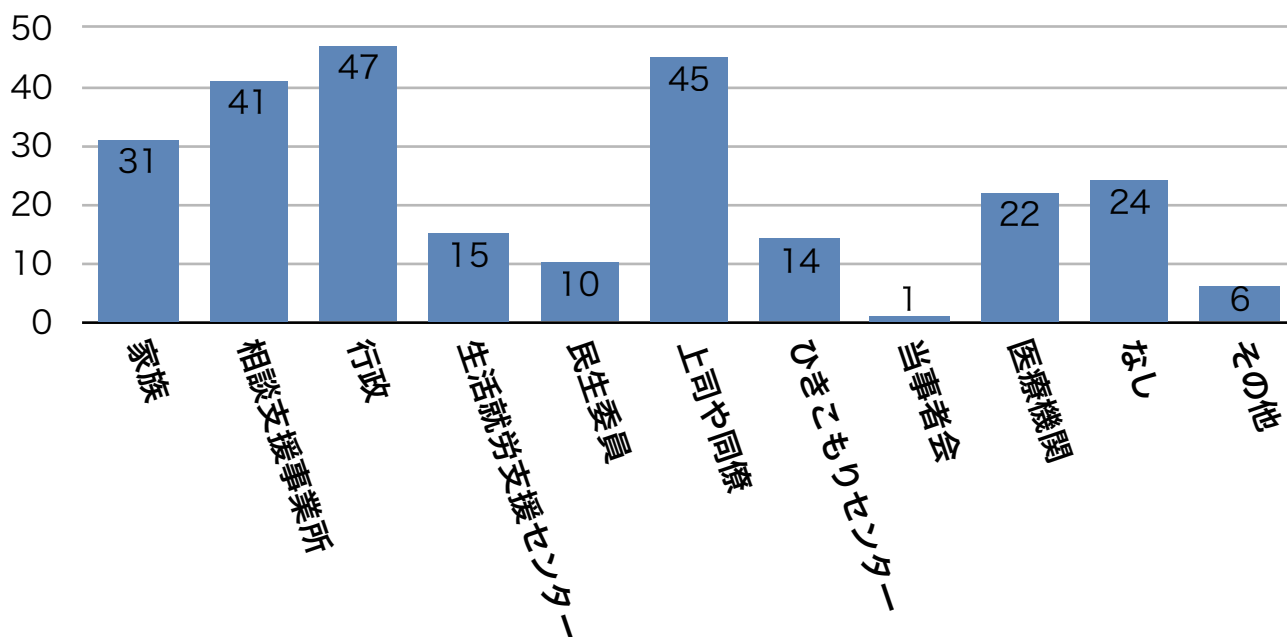
Q2 あなたは1ヶ月に何件くらいの訪問をしますか。 (N=109)



Q3 あなたが3年間に訪問したケースの中で、同居するひきこもりの方 がいるご家庭は何ケースありますか。 (N=109)



Q4 あなたが支援している高齢者について、同居家族にひきこもりの方がいる場合、どのような方(機関)に相談しますか。



Q5 最近3年以内で同居するひきこもりの方の状態像が改善につながったケースがあれば、そのアプローチと改善内容について教えてください

アプローチ	改善内容
相談支援事業所に相談した(8件)	福祉サービスの利用につながった(5件)
	医療機関につなげた
	就労支援事業所の利用につながった
	訪問したがひきこもりの方が拒否
区役所に相談して障がい者相談支援事業所につながった	その事業所の方と面談し、今後を考えていくことになった
区役所精神相談員に連絡、本人、家族、ケアマネと話し合い	法的支援につながった
区役所に相談し、一緒に訪問	部屋の片づけが少し進んだ
生活保護課に相談	保護課の就労支援につながった
区役所職員と共に家族にアプローチした	同居していた祖母の年金に頼らず生保利用となり、生保担当から自立支援を受けている
就労生活支援センターを紹介(2件)	少しだけやる気持ちになったが、結局行けなかった
	廃車対応、保険や年金について対応してもらった。マンション売却、アパートへ引越し、弁護士紹介等
医療機関へつないだ	発達障がいの診断がついた
精神科医の往診依頼	強迫症状が緩和
虐待対応	家族の分離

自宅で家族（親戚）や機関と会議を行った	福祉サービスにつながった
同居家族ではない長男に相談した	医療と介護保険申請につながった
親の介護保険導入	親の介護という役割ができた
入院歴のある病院、弁護士、相談支援事業所、両親のケアマネージャに相談した	健康保険証の再発行、離婚したパートナーとの経済面の協議、両親、対象者の今後の住まいの検討につながった
民生委員へ相談した	見守り支援の充実につながった

Q6 同居するひきこもりの方の状態改善に向けて必要な情報を具体的にご記載ください。
 ※自由記述の内容のうち、個人が特定されないように編集した後カテゴリーごとに分類した。なお、質問への回答に該当しないものは除外している。

相談窓口や支援機関について
・どのような機関につなげるのがよいかわからない。
・どの機関につなげば、どのくらいの時間でどのような支援をしてもらえるのかを具体的に知りたい。
・ひきこもりの方に対して、どのような支援が受けられる可能性があるのか。
・支援機関がどれくらい相談に乗ってくれるか。
・地域の中の具体的な相談先（相談先がどのようなことを行う機関でどんな効果があるかなどがわかる情報も含めて）と家族の会の情報。
・相談窓口の一覧。
・相談窓口の明確化。
・ひきこもりの方を発見した場合の相談先の明確化、対応マニュアル化。
・40代50代の社会人経験がない（少ない）方の就労先や相談先情報。
・障がい者相談支援事業所へ相談しても多忙なようでなかなかすぐには動いてもらえないのと、継続的なかわりがなくなってしまうこと。
・就労準備支援事業につなぐ。
・保護課に情報等を報告。
ニーズがなくても関わってくれる/継続的に関わってくれる/訪問してくれる機関（医療機関含む）
・そもそも本人は相談に行くのが難しいので訪問してくれればと思う。医療機関もアウトリーチしてくれれば助かる。
・支援を必要としていないひきこもりの方の相談先。
・情報があってもひきこもりの方が拒否していると何も支援できない。
・本人や家族が希望しなくても相談や訪問してくれる相談機関。
・同行訪問して継続的に関わってくれる支援事業所の情報（支援拒否があっても）。

<ul style="list-style-type: none"> ・訪問診療可能な精神科や訪問可能（アウトリーチ）なP S Wや連携室の方がいる精神科。
<ul style="list-style-type: none"> ・本人からのS O Sがないと支援できないでは困る。柔軟に対応してほしい。相談できる場所。そもそもひきこもりなので本人は相談へ行かないし家族も高齢なので行けない。どんな相談なら受付けてくれるのか。
<h3>ひきこもりの方や家族の情報</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・家族が支援を求めているか。
<ul style="list-style-type: none"> ・受診状況、障がいサービス利用有無、同居家族の意向、本人の意向。
<ul style="list-style-type: none"> ・設問の意味がわかりませんが、受療状況や生活歴など。
<ul style="list-style-type: none"> ・発達障がい等の診断を受けているか、就労経験の有無。
<ul style="list-style-type: none"> ・病歴、生活状況の把握、医療機関の協力。
<h3>ひきこもりの方や家族へのアプローチ方法</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり家族と本人のアプローチ方法。
<ul style="list-style-type: none"> ・同居の引きこもりの方と会えないことが多い。本人の同意も得られない状況でどのように動き、支援できたら良いのか。
<ul style="list-style-type: none"> ・その方の意欲につながる、事柄を見つけだすこと。
<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの同居者は自宅に居ることが多く、特に何も支援を受けていない。親とは外出することがある。親が生きている間は何とかなっているが、もしものときにどうしたらいいかと考えている。ケース介入のタイミング。
<h3>医療へのつながり方</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・医療につながること、適切な服薬、訪看等での人とのつながり。
<ul style="list-style-type: none"> ・状態改善に向けて相談できる医療機関。
<h3>その他</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・関わり方や支援方法についての注意点を知る機会。障がい者相談支援事業所や行政、医療機関と連携していきたい。
<ul style="list-style-type: none"> ・生活費についての情報提供（年金受給者が死去・施設入所・入院した場合の同居家族の生活への具体的提案。
<ul style="list-style-type: none"> ・専門機関との事例検討会。
<ul style="list-style-type: none"> ・不定期でも途切れない関わりが重要だと思う。
<h3>不明、なし</h3>
<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもりの方がいるらしいしかわからない。
<ul style="list-style-type: none"> ・現在は担当していないので、何とも言えない。
<ul style="list-style-type: none"> ・今のところなし。